

## 令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録（要旨）

- 1 日 時 令和7年3月17日（月） 16:00～17:00
- 2 場 所 校長室
- 3 出席者 館山会長、野崎委員、藤本委員、谷口委員、高瀬委員、村田委員  
檜崎校長、太田教頭、櫻間事務長、花野首席  
その他教員 3名

### 4 次 第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 令和6年度学校経営計画および学校評価
- (4) 令和7年度学校経営計画および学校評価（案）
- (5) 閉会

※傍聴希望者なし

### 5 協議・意見交換

#### <校長より学校の現状報告>

入学者選抜は今年度からオンライン出願に変更され、2月14、17日に出願を受け付けました。出願倍率が1.44倍（48名募集に対し69名の応募）であった。第8期生の卒業式では、卒業生全員が参加し、卒業証書を受け取ることができた。就労状況については、現時点で89%の就職率を達成し、前年度の82%から上昇している。7期生の定着状況は、飲食業界での就労継続について人間関係や、高校生・大学生のアルバイトとの競合による困難さがあることが考えられる。

#### <会長あいさつ>

先日の8期生の卒業式は素晴らしかった。大変たくましく育った3年生が卒業していったが、本人たちの努力はもちろんのこと、教職員や運営協議会の委員の皆さま、関係機関の方々のご助力あってのことだと考えている。改めて感謝いたします。本校は入学希望者が開校2年目以降、定員を下回ることがなく、府立の高等支援学校の中でも生徒や保護者の注目度が高いと感じています。

#### <令和6年度学校経営計画および学校評価について>

##### 【校長より主旨説明】

学校評価の概要:年度初めに教育目標を説明し、昨年度からの周知事項を記載。特に職業学科設置高等支援学校では、就労率、定着率、出願率などの数値目標を設定。目標達成のための具体的な取り組み（現場実習、マッチングなど）を実施。

学校経営の変化:以前は生徒たちへの教育が経営計画の中心だったが、最近は教職員の働き方改革も重点項目として挙げている。教職員のワークライフバランスを考慮し、子育て世代への支援や協力体制を構築。並行してWebによるストレスチェックを実施し、教職員の精神的な健康状態を把握。評価結果を基に、より良い職場環境の構築を目指している。学校教育自己診断とストレスチェックの結果は概ね良好であるが、今後も改善が必要な項目があり引き続きご助言いただきたい。

<令和7年度学校経営計画および学校評価（案）について>

**【校長より趣旨説明】**

令和7年度の学校経営計画:令和6年度の学校経営計画の評価を基に、令和7年度の計画案を作成。現状維持ではなく、指標や教員の意識を向上させ、学校の質を高めることを目指す。自己診断アンケートなどの評価も活用し、学校の良い点を維持しつつ、改善すべき点はスピード感をもって改善を図る予定である。

[質問] 特になし

[討議事項] 特になし

[情報提供] 委員より就職した卒業生の現状報告

ボランティア活動に積極的に参加し、地域清掃に貢献。アビリンピック大阪大会で優勝し、ビルクリーニング検定2級を最速で取得。

次年度3名の内定者がおり4月の入社式を控えている。うち1名が入社式の社長への質疑応答する3名の中に選ばれ質問内容を検討中。

<校長：閉会の挨拶>

昨年度は出願率が低下傾向にあったが、今年度は早期に中学校教員向けの研修を実施したこと、学校説明会を土曜日に開催したことなどが効果を発揮した。引き続き情報収集と迅速な対応が重要である。次年度も原点に立ち返って教育活動に取り組む所存である。